

タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3530		
科目名	警察政策		
担当教員	金山 泰介		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	木 2		
講義室	1304	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E[学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-I[理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 C1倫理的思考・社会認識 10% E1学識と専門技能 50% G1状況把握 10% I1理解・分析と読解 10% I2量的分析 10% I3情報分析 10%		
教員の実務経験	警察庁、都道府県警察、内閣官房、在タイ日本大使館等34年間の実務経験を基に、警察行政の制度及びその企画、立案、執行の各段階について具体的に説明します。（第3～7回、9～14回）		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	警察活動の基盤となっている組織の体制及び諸活動についての基本的知識の修得を目的とします。具体的には、警察法及び警察官職務執行法等警察行政法運用の理念・倫理を理解した上で、公共空間及び親密圏での犯罪予防、テロ、サイバー犯罪等の国際的な取組、組織犯罪対策と違法収益剥奪の在り方、国内の反社会的勢力対策や少年非行対策等幅広く今日の警察が直面する諸課題についての理解を深めることを目標とします。授業形態は、オンライン（オンデマンド）形式で行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、対面による授業を一部取り入れる場合があります。 (キーワード)警察行政・犯罪対策・治安行政		
授業の趣旨	■副題 幅広い警察活動の内容を学ぶ。 ■授業の目的 治安行政は、平成期に入り犯罪急増等により国民の関心が高まるとともに、配偶者暴力、ストーカー、児童虐待等の新規立法が相次いで行われるなど大きく進展している。こうした治安行政の中核に担う警察行政の進展の背景、内容を理解すること。 ■授業のポイント 警察行政は、犯罪や社会の変化、国民意識の変化等に対応するため、その都度、制度や内容が変更されていることからその背景を理解すること。		

総合到達目標	■一般目標（GIO） 近年の警察行政の進展の背景、内容について自分の言葉で説明できるようになること。 ■個別行動目標（SBOs） ・警察政策策定の基本的考え方を説明できる。（第2～7回、第9～14回） ・警察の各部門の特徴等を説明できる。（第6、7、9～14回） ・警察官職務執行法の概要を説明できる。（第3、4回）	
成績評価方法	■試験2回（80%）：適用ルーブリック C1・E1・G1・I1・I2・I3 （評価の視点） 警察行政の断片的な知識の羅列ではなく、社会の発展や国民の意識の変化とのかかわりなど政策の背景を踏まえた総合的な論述を求めます。理解の正しさ、表現力も評価します。 （フィードバックの方法） 授業内で論点等の解説をします。 ■リアクションペーパー等授業参加度（20%）：適用ルーブリック E1・I1 （評価の視点） 予習・復習の励行の有無が評価されます。 （フィードバックの方法） 授業内で説明します。	
履修条件	社会安全政策論履修者が望ましい。	
履修上の注意点	警察に関する報道に関心を持って積極的に接してください。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 講義の項目、評価方法等を理解する。 ③予習（60分）シラバスの精読 ④復習（60分）講義ノートを整理し自らの学習計画と他の履修科目との関係について検討する。
	2	①授業テーマ 警察法と警察制度 ②授業概要 警察法及び警察制度の概要（E）について説明できるようになる。（E1・I1・I2） ③予習（120分） 事前配布資料及びテキスト該当部分を精読し、日本警察の全体像を理解する。 ④復習（120分） 講義ノートを整理し、組織としての警察と行政活動としての警察についてまとめる。
	3	①授業テーマ 警察官職務執行法Ⅰ（職務質問、保護） ②授業概要 警察官職務執行法の概要並びに職務質問及び保護の具体的な適用（E）について説明できるようになる。教員の実務経験に基づき具体的に説明します。（E1・G1・I1） ③予習（120分） 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、主要な判例について考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを整理し、職務質問の限界について主要判例に基づきまとめる。
	4	①授業テーマ 警察官職務執行法Ⅱ（武器の使用等） ②授業概要 警察官職務執行法第4～7条に規定する武器の使用等の具体的な適用（E）について説明できるようになる。教員の実務経験に基づき具体的に説明します。（E1・G1・I1） ③予習（120分） 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、武器の意義について考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを整理し、拳銃使用の限界について主要判例に基づきまとめる。
	5	①授業テーマ 警察の倫理 ②授業概要 警察官の職務倫理の概要及びその特徴（C）について説明できるようになる。（C1・E1・G1・I1） ③予習（120分） 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、警察官の倫理と公務員の倫理の違いを考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを整理し、警察官は一般公務員よりも高い倫理性が求められる理由についてまとめる。
	6	①授業テーマ 地域警察 ②授業概要 教員の実務経験に基づき説明される地域警察活動の概要（E）を、コミュニティポリシングとの対比を踏まえて説明できるようになる。教員の実務経験に基づき具体的に説明します。（E1 I1）

	③予習（120分）事前配布資料及びテキスト該当部分を精読し、交番・駐在所制度を理解する。 ④復習（120分）コミュニティポリシングと日本の地域警察活動を比較する。
7	①授業テーマ 生活安全警察Ⅰ（安全安心なまちづくり等犯罪抑止対策） ②授業内容 公共空間における犯罪防止政策の変遷と現状（E）を犯罪予防の理論の適用を踏まえて説明できるようになる。（E1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、犯罪予防の重要性を理解する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、犯罪予防の理論に基づく各種施策をまとめる。
8	①授業テーマ 中間試験と前半のまとめ（対面） ②授業内容 前半の授業内容から出題する。出題の解説に基づき、前半の講義のポイントを押さえる。（C1・E1・G1・I1・I2・I3） ③予習（240分）試験の準備をする。 ④復習（60分）解説に基づき答案を再構成する。
9	①授業テーマ 生活安全警察Ⅱ（配偶者暴力、ストーカー、児童虐待対策） ②授業概要 女性と子供を犯罪から守る政策の変遷と現行法制度（E）について説明できるようになる。教員の実務経験に基づき具体的に説明します。（C1・E1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、関係法令に目を通す。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、女性と子供を守る政策の変遷をまとめる。
10	①授業テーマ 生活安全警察Ⅲ（少年非行対策） ②授業概要 少年非行対策の歴史と現行法制度（E）を説明できるようになる。教員の実務経験に基づき具体的に説明します。（C1・E1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、少年法及び児童福祉法の最近の改正条項に目を通す。 ④復習（120分）講義ノート整理し、少年非行対策の沿革をまとめる。
11	①授業テーマ 刑事警察 ②授業概要 性犯罪、特殊詐欺等刑事警察をめぐる諸課題（E）について説明できるようになる。教員の実務経験に基づき具体的に説明します。（E1・I1・I2） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分の精読し、近年の改正刑法の条文に目を通す。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、近年の刑法改正の背景をまとめる。
12	①授業テーマ 組織犯罪対策（暴力団、銃器薬物対策） ②授業概要 組織犯罪対策の現状（E）について説明できるようになる。教員の実務経験に基づき具体的に説明します。（E1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、暴力団排除について考察する。 ④復習（120分）講義ノートの整理し、我が国の強力な銃器薬物対策の意義をまとめる。
13	①授業テーマ 警備警察 ②授業概要 テロ対策を中心に警備警察（E）について説明できるようになる。教員の実務経験に基づき具体的に説明します。（E1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分の精読し、テロの定義を考察する。 ④復習（120分）講義ノートの整理し、テロ対策の沿革をまとめる。
14	①授業テーマ サイバー警察 ②授業内容 サイバー事案対策の推移と現行法制度（E）について説明できるようになる。教員の実務経験に基づき具体的に説明します。（C1・E1・I1・I2） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、サイバーセキュリティ基本法の基本条項に目を通す。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、サイバー空間の秩序維持のための諸施策についてまとめる。
15	①授業テーマ 期末試験と講義のまとめ（対面） ②授業内容 講義全体から出題する。出題の解説に基づき、講義のポイントを押さえる。（C1・E1・G1・I1・I2・I3） ③予習（300分）試験の準備をする。 ④復習（60分）解説に基づき答案を再構成する。
関連科目	刑事司法手続きⅡ(RMGT3424) 社会安全政策論(RMGT3521) 犯罪と捜査(RMGT3529)
教科書	「新版 警察行政概論」金山泰介 立花書房（2019）

参考書・参考URL	「社会安全政策論」警察政策学会編 立花書房(2018)
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 初回授業時に告知します。 ■オフィスアワー メールで受け付けます。
研究比率	■危機管理領域との対応 パブリックセキュリティ（70%）災害マネジメント（10%）グローバルセキュリティ（10%）情報セキュリティ（10%） ■危機管理学と法学のバランス 危機管理学（70%）法学（30%）

